

福田改造内閣



新テロ特措法延長は許さない

平和願う国民世論でストップを！

8月2日、新福田内閣の顔ぶれが、明らかとなりました。この内閣の大きな特徴は…、

新テロ特措法の延長に意欲

「国際社会と強調して『テロとの闘い』に取り組む」、「関係国が大きな犠牲を払っており、無視できない」

福田首相は、改造早々、米国のアフガニスタン戦争支援のために、インド洋に自衛隊を派兵する新テロ特措法（来年1月で期限切れ）の延長に強い意欲を見せました。

初内閣の林芳正防衛相も民放番組で、「（新テロ特措法が）

なぜ必要かを説明して、国民の理解を得る準備をしっかりとる」と述べ、臨時国会への延長法案の提出に意欲を示しました。



市民を殺戮、泥沼のアフガニスタン

しかし、アフガンでの米軍の掃討作戦は、罪のない市民を殺戮し、「テロ根絶」にも逆行。戦争開始から7年、治安は最悪となつていきます。泥沼の戦争に日本国民を引きずり込むことは許せません。

福田首相は、7月6日のブッシュ大統領との首脳会談後、「日米同盟をいっそう強化していくことで一致した」と述べ、戦争支援を継続使用としているのです。「国民の目線」どころかアメリカ言いなり内閣です。

国民世論を恐れている

アメリカいいなりの派兵継続に国民は批判を強めています。

た「自衛隊派兵恒久法」は現在、表に出てきていません。

福田首相はもとより、自民・公明の与党は、国民の批判を強く恐れています。「改憲」を公約に掲げた安倍内閣が参議院選挙で歴史的惨敗をした同じ轍を踏むことを恐れているのです。

国民世論が政治を動かしています。憲法9条守れ、新テロ特措法延長反対、恒久派兵法反対の声をさらに強くしましょう。



自民党の新幹事長 麻生太郎氏はどんな人物筋金入りの「改憲」靖国派

改憲右翼団体の日本会議国会議員懇談会顧問・前会長という改憲・「靖国」派。天皇の靖国神社参拝が持論。

「（創氏改名は朝鮮人が）名字をくれと言ったのが始まりだ」と過去の侵略戦争を正当化する暴言を繰り返してきました。

今回の幹事長就任について、韓国メディアは一斉に警戒感を強めています。

故吉田茂首相の孫

米原潜放射能漏れ

動核基地

日本にも世界にもいらない

米海軍は一日、米原子力潜水艦ヒューストンが今年3月4月に長崎県佐世保基地に寄港した際に、艦内から放射性物質を含む水をもらっていた可能性が明らかになりました。放射能漏れは「数ヶ月に及ぶ」ものです。

米海軍は一日、米原子力潜水艦ヒューストンが今年3月4月に長崎県佐世保基地に寄港した際に、艦内から放射性物質を含む水をもらっていた可能性が明らかになりました。放射能漏れは「数ヶ月に及ぶ」ものです。



吹き飛んだ「安全神話」

これまで米政府は、何の根拠もなく「米原子力艦船は安全だ」と勝手な「安全神話」を振りまいてきました。しかし、放射能を垂れ流していたことを米政府自身が認めたことは、「安全神話」が吹き飛んだことを意味します。

通報も遅れる

今回の事故では、通報の遅れも重大。米政府が日本に通報したのは、異常発覚後2週間、放射能漏れを検出してからでも1週間後です。さらに政府は、アメリカに抗議すら行っていない。日米政府は、直ちに事故の全容を明らかにすべき

原子力空母配備に反対しよう

米政府は、9月末に、米原子力空母ジョージ・ワシントンを横須賀配備しようとしています。同艦は、火災事故を起こしたばかり。横須賀が母港になれば、核事故の危険は原潜の比ではなく増大します。原子力空母の横須賀配備反対の声を強めましょう。



原子力空母母港化に反対する3万人集会 7月13日



2008年原水爆禁止世界大会

二〇一〇年NPT再検討会議成功へ

核廃絶の大きなうねりを世界から

2008年原水爆禁止世界大会が、8月2日から9日まで、広島、長崎で開催され、広島大会には外国代表も含め、6800人が参加しました。

今年の世界大会は、2010年に開催される核不拡散条約(NPT)再検討会議に向けて運動を強めようという活発な議論が行われ、核兵器廃絶へ大きな意義ある大会となりました。

世界大会では、NPT再検討会議ま

での20ヶ月間を「核兵器のない世界」を共通目標とする全世界的な行動キャンペーン提唱し、核廃絶を求める署名運動を軸に、多彩で創意あふれるとりくみによって

世界をつなぐ、国際共同行動繰り広げることを確認しました。

